



マーチィ's ROOM

マーチィに訊け!

まちづくりライブラリーからおすすめの一冊 県都市計画課で貸し出しできます!
『LRTが京都を救う～都大路まちづくり大作戦』 土居靖範・近藤宏一・榎田基明 共著(つむぎ出版)



今号のおすすめ
ライブラリー
こちら!



この本は2004年に発行されたもので、LRT導入によるメリットを、京都を具体例として取り上げて提案をしている内容となっています。

この本の中で著者は、公共交通で生活圏全体をカバーするためには、LRTといった鉄軌道だけでなく、それに接続するバス等の整備も必要であり、「交通過疎地域」解消は、住み続けられるまちづくりの視点で極めて重要であると主張しています。この視点で考えたとき、LRTはただ単にレールを敷き車両を走らせればすむというわけではなく、“人と環境に優しい交通機関はどのようなものであるべきか”をふまえて、交通体系全体を構築していく必要があります。

まずは、各都市の現状と問題点を洗い出し、住み続けられる活力あるまちをつくるために必要な交通網を考えていく必要があるのではないのでしょうか。

マーチィ VOICE

●ファシリテーターの紹介●

帝京大学院 経済学研究科 山根真理子



山根真理子さん

平成25年度にパートナーネットワーク講座を受講し、群馬県まちづくりファシリテーターに認定していただきました。講師である大下教授の大学院でのゼミナールに所属しております。講座を受講してからもご縁があり、この2年間で前橋市、藤岡市、桐生市、渋川市、みどり市にお伺いすることができました。

講座を受講してから、ファシリテーターの【参加者の潜在的な思いを引き出して、意見を調整し、一つにまとめる】という役割に魅了されてしまい、「ワークショップ」と聞くと胸が高鳴ってしまいます。認定後は大下教授のご指導のもと、学内をはじめ様々な場でファシリテーターを務めさせていただき、少しずつではありますが、実践を通して技術を高めています。

「相互理解」を深め、さらに「合意形成」を図るというワークショップの手法は、行政や企業、そして市民の思いを重ね合わせることで、地域活力が向上する有効な手法だと考えます。

今までは「地域づくりに携わりたい」という漠然とした思いを抱いていましたが、パートナーネットワーク講座で学んだファシリテーション技術を活かして、【ボトムアップ型の地域づくり】に貢献したいと、大学院修了を目前に今後の目標が定まってきたところです。

都市計画課事務局の皆さまには細やかな配慮をいただき、また講師の大下茂教授とアシスタントの滝沢さまにはテンポの良い講義と実践の工夫をご指導いただきました。そして、平成25年度受講生の皆さま、温かく受け入れてくださり、本当に楽しいワークショップの場を創ってくださり、ありがとうございました。パートナーネットワーク講座を受講して本当に良かったです。



講座の様子

マーチィの掲示板

新井(群馬県都市計画課まちづくり推進係)、国土交通大学校へ行く!



みなさま、こんにちは。群馬県都市計画課の新井と申します。

2015年1月19日から1月30日までの12日間、東京都小平市の“国土交通大学校”で区画整理の勉強をして参りました。区画整理初心者の私にとっては、講義や課題研究全てが勉強になりました。

研修内容は、区画整理事業の一般的な流れや法規関係、さらには民間企業の講師とした事業の実施例など、多岐にわたる貴重な講義だけに留まらず、とある市のとある地区を課題地区として現地視察を行い、その後実際に基本構想を策定するという研究課題もありました。

研修期間中は朝から夕方まで講義を受け、夜はグループワークで課題研究といった日々で、とても充実した毎日を過ごすことができました。

研修内容がためになったというだけでなく、北は北海道から南は鹿児島までの行政職員と、つながりを持つことができたということが、非常に貴重であると感じました。

